

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

◆第3回核兵器の人的影響に関する会議

◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出しました

◆副会長のフロン市長（ノルウェー）がテヘラン平和博物館を訪問

◆ウェリントン市（ニュージーランド）がリーダー都市就任を承諾

◆赤十字国際委員会（ICRC）主催の国際会議と写真展の開催

◆「くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト」受講者募集

◆被爆70周年記念ヒロシマ・ナガサキ原爆展をバルセロナ市及びグラノラズ市で開催

◆ヒロシマ発平和関連ニュース[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

◆加盟都市の活動紹介（ショワジー・ル・ロワ市（フランス）、ベッシャハル、シールヴァーン、ナラーク、マラーイェル（イラン））

◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業の御案内

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,435自治体

~~*~*~*~*~*~*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>「いいね！」をお待ちしています。

~~*~*~*~*~*~*

◆第3回核兵器の人的影響に関する会議

[12月8日、9日 ウィーン市（オーストリア）]

12月8日、9日、オーストリア政府主催による「第3回核兵器の人的影響に関する会議」がウィーン市（オーストリア）で開催されました。今回初めて核保有国から参加した米国・英国を含め158か国が参加したほか、国連、赤十字、市民団体、学識者の代表も参加しました。開会式では、広島で被爆し現在はカナダ在住のサーロー節子氏が被爆体験を証言し、被爆70周年が核兵器廃絶実現のための節目となるよう勇気を持って前進しようと呼びかけました。会議では約100か国・団体の代表が演説しました。

最後に2日間の討議をまとめた議長総括が発表され、大多数の参加国から核兵器廃絶に向けて核兵器禁止条約などの法的枠組の必要性が強調されました。また、核軍縮を進める上で、来年の被爆70周年が重要な節目として多くの国に認識されていることなどに言及し、閉会しました。

平和首長会議代表団はNGO枠で同会議に参加し、一般討論において小溝事務総長がスピーチしました。小溝事務総長は、次のように述べて、スピーチを締めくくりました。

「平和首長会議は、核兵器禁止条約の推進に向け、多くの方々とともに取り組んでいます。世界の指導者、特に核兵器保有国の指導者の皆さんに再度お願いします。核兵器のない平和な世界の構築に向け思い

切った決断をしてください。歴史は私たちの味方です。この目的達成のため共に尽力していきましょう。」

この会議に併せて参加した他の会議や訪問等の詳細は、次号に掲載します。

▼「第3回核兵器の人的影響に関する会議」公式ウェブサイト（オーストリア外務省ウェブサイト、英語）

<http://www.bmeia.gv.at/en/european-foreign-policy/disarmament/weapons-of-mass-destruction/nuclear-weapon-s-and-nuclear-terrorism/vienna-conference-on-the-humanitarian-impact-of-nuclear-weapons/>

▼平和首長会議ステートメント全文（英語）

http://www.bmeia.gv.at/fileadmin/user_upload/Zentrale/Aussenpolitik/Abruestung/HINW14/Statements/HINW14_Statement_Mayors_for_Peace.pdf

▼サーロー節子氏の被爆証言（英語）

http://www.bmeia.gv.at/fileadmin/user_upload/Zentrale/Aussenpolitik/Abruestung/HINW14/HINW14_Speech_Setsuko.pdf

▼議長総括（英語）

http://www.bmeia.gv.at/fileadmin/user_upload/Zentrale/Aussenpolitik/Abruestung/HINW14/HINW14_Chair_s_Summary.pdf

=====

◆「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進を求める要請文を日本政府に提出しました

[11月27日]

=====

11月10日、11日に長野県松本市で開催した「第4回平和首長会議国内加盟都市会議総会」での決定に基づき、松井広島市長（平和首長会議会長）、黒田長崎市東京事務所長（長崎市長代理）、高山松本市総務部長（松本市長代理）が外務省を訪問し、「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進について安倍晋三内閣総理大臣宛ての要請文を宇都外務大臣政務官へ提出しました。

要請文を受け取った宇都外務大臣政務官は「平和首長会議の首長の皆様の思いを私自身しっかりと受け止めさせていただいた。この要請の内容は安倍総理にしっかりと伝える。政府として、核兵器のない世界の実現を目指し現実的かつ具体的な取組を着実に進めていきたい。被爆70周年、NPT再検討会議に向け、広島市、長崎市、平和首長会議ともしっかりと連携を図りながら、オールジャパンで取り組んでいきたい。」と述べられました。

▼詳細記事（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/141127_jp/index.html

▼要請文（平和首長会議ウェブサイト）：

http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/141127_jp/request_141127.html

▼会議の詳細（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/jpmeeting/4th/index.html>

=====

◆副会長のフロン市長（ノルウェー）がテヘラン平和博物館を訪問

[12月8日、テヘラン]

=====

12月8日、平和首長会議副会長であるフロン市（ノルウェー）のトーレ・ベツビィ市長がテヘラン平和博物館を訪問しました。同博物館で平和首長会議の活動に協力している委員会のメンバーが、イランにおける加盟要請活動、加盟都市による平和活動、ワークショップや展示の開催等を含む加盟都市向けの今後の意識啓発プログラム等について報告しました。

イランの加盟都市の市長や自治体代表が数名参加する中、ベツビィ市長はテヘラン平和博物館やイラン平和首長会議事務所の取組に感銘を受けたと述べました。テヘラン市の渉外・国際センター副会長であるモザファリ氏がベツビィ市長を歓迎し、テヘラン市とノルウェーの各都市との交流を続けていきたいとの

希望を示すとともに、平和首長会議及び加盟都市に中東の危機的状況への意識をより高めてほしいと要請し、イランの人々は非常に平和的な国民であることを強調しました。

続いて、ともに加盟都市であるギャターブ市の市長及びキャラジ市の代表がそれぞれの自治体を紹介し、更に平和活動に取り組みたいとの決意を述べ、平和首長会議副会長であるベツビィ市長から加盟認定証を受領しました。また、平和首長会議会長からの感謝状が、イラン平和首長会議コーディネーターであるレザイー氏に手渡されました。

▼詳細記事（平和首長会議ウェブサイト、英語）

<http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2014/MayorVestbyVisitTehran/index.html>

▼関連記事（テヘラン平和博物館ウェブサイト、英語）

<http://www.tehranpeacemuseum.org/index.php/en/en-news/1036-mayor-thore-vestby.html>

▼訪問時の写真（テヘラン平和博物館ウェブサイト）

<http://www.tehranpeacemuseum.org/index.php/en/gallery-en/en-meevents/government-mu-en/1035-peace-mayors-2014.html>

=====

◆ウェリントン市（ニュージーランド）がリーダー都市就任を承諾

=====

ウェリントン市の平和首長会議リーダー都市就任について、9月2日にウェリントン市議会経済成長・戦略委員会で可決され、承諾する旨の11月17日付けの書簡がウェリントン市長から届きました。ウェリントン市がリーダー都市を務める地域グループは、ニュージーランド全域となります。今後の活動として、ニュージーランドの加盟都市がイベントや活動を共にできるような平和イベントカレンダーの作成、ウェリントン市の平和事業パートナーによる設立会議の招集、ウェリントン平和ニュースレターの発信等を計画しています。

また、西オーストラリア地域のリーダー都市であるフリマントル市長とも連携していく予定です。

=====

◆赤十字国際委員会（ICRC）主催の国際会議と写真展の開催

=====

11月26日（水）～28日（金）、赤十字国際委員会（ICRC）が主催する「第5回アジア編集者会議」が開催されました。これまでアジアの主要都市で開催されてきたこの会議は、今回、「人道問題を話し合うために最適な場所」として被爆地広島で開催されました。

会議では、赤十字関係者及びアジアで活躍するジャーナリストが一堂に会し、世界の人道問題の予防・打開に向けたお互いの役割について、3つのテーマに分かれてセッションが行われました。

最終日の閉会式では会長の松井広島市長が英語でスピーチを行い、「核兵器のない平和な世界」の実現に向け、赤十字国際委員会（ICRC）との連携の強化と協力を呼び掛けました。

また、この度の会議開催に併せ、赤十字国際委員会（ICRC）及び在日スイス大使館主催により、元赤十字国際委員会（ICRC）職員で写真家のジャン・モア氏の写真展『僕たちが見た戦争』の展示が平和記念公園で始まりしました。初日の26日には駐日スイス大使夫人、日本赤十字社社長が臨席の下、オープニングセレモニーが行われ、小溝事務総長が挨拶を述べました。この展示は12月27日までの約1か月間行われます。

▼会議の概要（ICRC ウェブサイト）：

<http://jp.icrc.org/event/pr141125/>

▼写真展の概要（ICRC ウェブサイト）：

<http://jp.icrc.org/event/jmphoto/>

=====

◆「くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト」受講者募集

[東京都国立市 12月20日～2015年1月14日]

=====

国立市では、市内で原爆体験の語り部として活動されている方々の体験と平和への思いを受け継ぎ、次世代に伝える原爆体験伝承者を育成するプロジェクトの受講者を募集しています。

第一期生を来年1月から一年かけて養成する予定で、広島、長崎でそれぞれ中学3年生の時被爆された2人の被爆者の体験の詳細な聞き取りのほか、木村優子氏（日テレ学院長、元日本テレビアナウンス部長）を講師に招き、話法技術の習得と朗読技術の習得講座も予定しています。

詳細は国立市ウェブサイトで御確認ください。

▼応募先・問い合わせ先：

国立市役所政策経営部市長室男女平等・人権・平和担当

〒186-8501 東京都国立市富士見台2-47-1

電話 042-576-2111（内線 229）

E-mail: sec_shichoshitsu@city.kunitachi.tokyo.jp

担当：小川

▼募集の詳細（国立市ウェブサイト）

<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/shisei/heiwa/008609.html>

=====

◆被爆70周年記念ヒロシマ・ナガサキ原爆展をバルセロナ市及びグラノラーズ市で開催

=====

2015年1月から3月にかけて、スペイン・バルセロナ市及び平和首長会議副会長都市であるグラノラーズ市で、被爆70周年を記念した「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催します。広島・長崎両市が実施する事業の一つであるこの原爆展は、グラノラーズ市の協力のもと、被爆の実相を伝え核兵器廃絶への国際世論の醸成を図ることを目的として開催します。バルセロナ市では1月13日から2月11日までボルン文化センターにおいて、グラノラーズ市では2月11日から3月8日までグラノラーズ博物館において、それぞれ開催されます。

▼関連記事（グラノラーズ市ウェブサイト、カタルニア語）

<http://www.granollers.cat/noticies/ajuntament/granollers-coordina-una-exposici%C3%B3-produ%C3%AFda-hiroshima-i-nagasaki-conscienciar>

=====

◆ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第2回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

今月はウィーンで「核兵器の非人道性に関する国際会議」、来年春には国連本部で5年に1度の核拡散防止条約（NPT）再検討会議と、核兵器のない世界の実現に向け、重要な会議が相次いで開かれます。平和首長会議だけではなく、被爆者や広島・長崎の市民らも、この機会に核兵器がどれほど非人道的か、理解を国際社会にさらに広げようと努めています。被爆国への期待も高まっているようです。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○代表団に星名誉教授ら 核兵器非人道性会議メンバー

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=38400>

○核兵器非人道性会議 被爆者派遣 来年「NPT」は23人

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=37204>

○「核廃絶 日本に役割」スイス外務次官、広島市長に

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=38649>

○広島市長、核軍縮に期待感表明 非人道性会議

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=38510>

○核兵器非人道性会議 米の初参加 外相が歓迎

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=37873>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

◆加盟都市の活動紹介

=====

*ショワジー・ル・ロワ市 (フランス)

ショワジー・ル・ロワからスレブレニツァ (ボスニア・ヘルツェゴビナ) までの平和行進

11月17日～21日の国際連帯週間に、フランスのヴァル・ド・マルヌ県のショワジー・ル・ロワ市は「平和行進」プロジェクトを開始しました。この取組はヴァル・ド・マルヌ県総務委員会の支援を受け、非営利法人とも連携して実施しています。年間を通じて「歩き、世界を記録し、変革しよう」とのテーマでいくつかの行事が企画されています。ハイライトのひとつは、スレブレニツァ (ボスニア・ヘルツェゴビナ) で同地での虐殺から20周年に際し2015年7月に開催される市民参加の平和行進です。

▼関連記事 (英語、フランス語)

<http://utopianotebook.canalblog.com/>

*イラン平和首長会議ニュース (9月、10月)

ベッシャハル、シールヴァーン、ナラーグ、マラーイェルの各自治体の取組

・ベッシャハル市の国際平和デー記念行事

9月21日、国際平和デーに際し、平和メッセージ朗読、平和の象徴としてのオリーブの植樹、化学兵器犠牲者の写真展、スポーツ選手の挨拶、化学兵器による戦没者の墓地への献花等を内容とする式典が開催されました。

・シールヴァーン市の「平和とガザ」ストリートショー

10月9日、「平和とガザ」ストリートショーが、シールヴァーン市長の支援を受け、多数のシールヴァーン市民が見守る中で上演されました。イマーム・ホメイニ救援基金によりガザ地区支援の市民募金も集められました。

・ナラーグ市の国際平和デー記念行事

9月21日、ナラーグ市及び州政府職員、戦没者遺族、退役軍人等が参加して国際平和デーの式典が開催されました。式典では、声明の読み上げ、記念品贈呈、化学兵器の犠牲となった戦没者遺族による詩、絵画、作文のコンクール等が行われました。

・マラーイェル市の観光案内所の入口を「ピース・ゲート」と命名

9月21日の国際平和デーに際し、マラーイェル市の観光案内所が開所し、案内所の入口が「ピース・ゲート」と名付けられました。マラーイェル市の市長は、「イランの人々には文学において平和の文化が広く根付いている。今日は、国連が定めた平和デーだが、いつか全ての日が平和デーとなることを願っている。」と述べました。

▼詳細記事 (平和首長会議ウェブサイト、英語)

http://www.mayorsforpeace.org/english/activities/memberscity/2014/Iranian_Mayors_for_Peace_News_Sep_Oct_2014.pdf

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/membercity/index.html>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議ホームページの「加盟都市の活動」コーナーに掲載する情報をお待ちしています。平和に関する様々な事業の情報をぜひお知らせください。

貴自治体のホームページにリンクする形でご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====

◆被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業の御案内

=====

平和首長会議では、昨年（2019年）の第8回平和市長会議総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を、今年度から開始しました。

11月は、淡路市（兵庫県）にアオギリを一本配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非御検討いただければ幸いです。

※被爆樹木の苗木には、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合には翌年度以降の送付となりますので、あらかじめ御了承ください。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！

=====

平和首長会議では、加盟都市の5000突破を契機として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

現在までに新宿区（東京都）や堺市（大阪府）、ロンドン市（イギリス）、ボルゴグラード市（ロシア）、カブール市（アフガニスタン）など、250を超える自治体がポスター展を開催しています。

11月は、三浦市（神奈川県）が市民まつりに合わせて11月16日（日）に原爆ポスター展を開催しました。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズA2版、18枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！

=====

2020年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」

を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

その早期実現を目指し、2011年11月の理事会及び2012年1月の国内加盟都市会議において、条約の交渉開始等を求める市民署名活動を加盟都市を挙げて展開することが決定されました。署名活動は第8回総会で決定した行動計画にも掲げられています。

皆様のご協力により、2014年12月1日現在、1,172,200筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

(署名はインターネットからも可能です。)

▼署名用紙 (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly Updating/11_petitionform_jp.pdf

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

◆平和首長会議加盟自治体数：160か国・地域 6,435自治体

=====

皆様のご理解とご協力により、今月63都市が新たに加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は12月1日現在で6,435自治体(160か国・地域)となりました。

日本国内では、宮城県名取市等16自治体(4市9町3村)が加盟し、国内加盟都市数は1,530都市(加盟率87.9%)となりました。常陸大宮市の加盟により茨城県内の全自治体が、佐渡市の加盟により新潟県内の全自治体が、香春町及び吉富町の加盟により福岡県内の全自治体が平和首長会議に加盟しました。これにより、1府19県(秋田県、茨城県、埼玉県、千葉県、山梨県、新潟県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県)において全自治体が加盟したことになります。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの42都市が新たに加盟し、同国の加盟都市数が470都市となりました。この他、韓国、トルコ、オーストリア、ドイツ、オランダから1都市がそれぞれ加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしくお願いします。

▼12月1日付新規加盟自治体一覧

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2014/newmembers1412_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ、
連絡先変更等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財) 広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp